

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和2年10月16日（金）10：00～

場所 白石市役所防災センター2階 会議室

1. 白石市と東北福祉大学との地域共生社会の実現に向けた包括連携協定締結式
2. 宮城教育大学と白石市教育員会との連携協力に関する協定締結式
3. 新たな地域おこし協力隊の着任について

白 石 市

白石市と東北福祉大学との地域共生社会の実現に 向けた包括連携協定締結式について

担当：福祉課

日 時：令和2年10月16日（金曜日）10時～
会 場：防災センター2階 会議室

○協定締結の経緯

本市は本年度、「第六次白石市総合計画」ならびに「地域福祉計画」の策定を進めているところですが、その中に政策として位置づけられる地域共生社会（※）の実現を本格的に推進するためには、学術機関を始めとした民間事業者との協働が必要不可欠であります。

東北福祉大学と本市がパートナーシップのもと、互いの持つ人材、知識、情報などの資源を有効に活用して、地域共生社会の実現を政策的に推進するために、ここに包括連携協定を締結するものです。

（※）地域共生社会

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受けて」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

○協定締結式

締結者 白石市・・山田裕一白石市長 東北福祉大学・・千葉公慈学長

協定項目

- (1) 地域共生社会の実現に必要となる事業に関すること
- (2) 人材の育成に関すること
- (3) その他それぞれが必要と認めること

宮城教育大学と白石市教育委員会との連携協力に 関する協定締結式について

担当：学校管理課

日 時：令和2年10月16日（金曜日）
午前10時45分～
会 場：防災センター2階 会議室

○協定締結の経緯

宮城教育大学と白石市教育委員会は、学校教育の創造及び諸課題の解決並びに教員の資質能力の向上に向けて相互に連携協力を図り、その成果を大学の教育学部及び教職大学院での教育研究・研修並びに教育委員会における諸活動において活用することにより、双方の活動の充実に資することを目的に連携協力に関する協定を締結するものです。

○協定締結式

締結者 宮城教育大学・・・村松 隆 学長
白石市教育委員会・・・半沢 芳典 教育長

協定項目

- (1) 教員の養成及び資質能力の向上に関すること
- (2) 学校教育の創造及び諸課題の解決方策に関すること
- (3) その他両者が必要と認めること

新たな白石市地域おこし協力隊の着任について

担当：商工観光課
企業立地定住促進課

本市では、すでに4名の地域おこし協力隊が、農産物のブランディングや観光振興、移住交流の分野で活動しておりますが、この度、10月から新たに観光分野で1名、関係人口拡大分野で4名の協力隊が加わることになりました。

新たな協力隊には、それぞれの経験やスキルを活かし、新たな視点と発想力で、地域のさらなる魅力向上に取り組んでいただきます。

●商工観光課地域おこし協力隊

- ・着任日 令和2年10月1日
- ・隊員名 松井 瑞輝（まつい みづき） 22歳
- ・前住所地 愛知県
- ・従事業務 白石城での甲冑試着体験、関連イベントの企画、運営。
Social Networking Service や Website 等を活用した情報発信。

参考：大学在学中に、フィリピンや東ティモールでボランティア活動などを経験。

大学3年次にアメリカ合衆国ウィスコンシン州にある大学に編入。政治学や環境学を専攻しながら、有機農家でインターンシップに参加。英語が堪能なことから、外国人向けの情報発信など、語学力を活かした活動が期待される。

●企業立地定住促進課地域おこし協力隊（関係人口拡大分野）

- ・着任日 令和2年10月2日
- ・隊員名 羽根 剛（はね つよし） 49歳
高橋 啓花（たかはし はるか） 24歳
中村 真知子（なかむら まちこ） 24歳
井口 裕太（いぐち ゆうた） 24歳
- ・前住所地 東京都（全員）
- ・従事業務 ワークーション事業の推進（商品企画やテストマーケティング等）。
Social Networking Service や Website 等を活用した情報発信。

参考：WEBシステムの開発運用、デザイン、プロジェクトマネジメント、施工管理といった業務経験を有する4名が、それぞれの能力を活かしたチーム活動で、本市の魅力を磨き上げるための新規事業の企画・実施に取り組む。